ひと、まち、笑顔に。

Joshin

株式会社 Joshin

2026 年度第 2 四半期決算説明会

2026 年 11 月 6 日

イベント概要

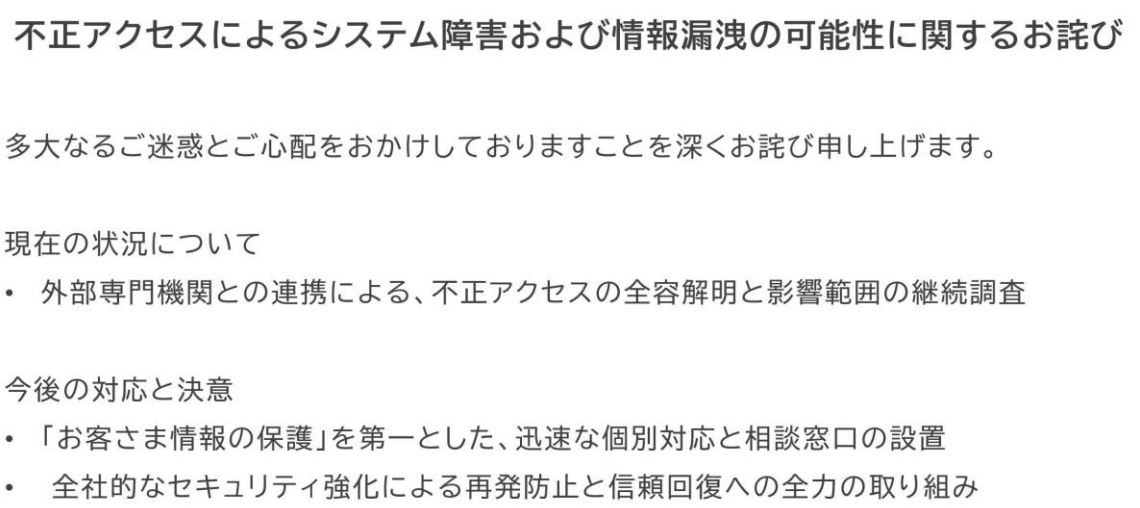
[企業名]	株式会社 Joshin
[企業 ID]	8173
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2026 年度第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2027 年度　第 2 四半期
[日程]	2026 年 11 月 6 日
[ページ数]	23
[時間]	17:00 – 17:23 （合計：23 分、登壇：19 分、質疑応答：4 分）
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	1 名 代表取締役 兼 社長執行役員 CEO　　高橋　徹也（以下、高橋）

登壇

司会：本日はお忙しい中、株式会社 Joshin、2026 年度第 2 四半期決算説明会のライブ配信をご視聴いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の進行につきまして、まず代表取締役兼社長執行役員 CEO、高橋徹也よりご説明申し上げ、その後、質疑応答のお時間とさせていただきます。皆様からのご質問につきましては、チャット欄にて承りますので、適宜ご入力をよろしくお願いいたします。なお、チャットの入力は、説明中も可能でございます。

それでは、高橋より説明させていただきます。高橋社長、よろしくお願いいたします。



高橋：皆様、こんにちは。株式会社 Joshin、代表取締役 兼 社長執行役員 CEO の、高橋徹也でございます。

決算のご説明に先立ちまして、この度の当社への不正アクセスによるシステム障害、およびお客様情報の漏洩の可能性につきまして、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、トップとして深くお詫び申し上げます。

10 月 16 日に、ネットワークの異常を検知して以降、当社は外部専門機関と連携し、不正アクセスの全容解明に向けた調査を最優先で進めております。

現時点で、最大約 600 万件の会員情報などが漏えいした可能性を認識しておりますが、お客様の決済情報に関しましては、当社は非表示化に対応しており、クレジットカード情報の漏えいは一切ございません。現在、専用のお客様相談口を設け、不審なメールやショートメッセージに対する注意喚起を行うなど、2 次被害の防止とお客様のご不安を払拭すべく、全力を挙げております。

本件に伴う業績の影響につきましては、現在精査中であり、開示すべき事実が判明した場合には速やかにお知らせいたします。私自身が先頭に立ち、お客様情報の保護とシステムの安全性確保を最優先に、失われた信頼の回復と再発防止に向けて、全社を挙げて取り組んでまいる所存です。誠に申し訳ございませんでした。

Joshin ［目次］

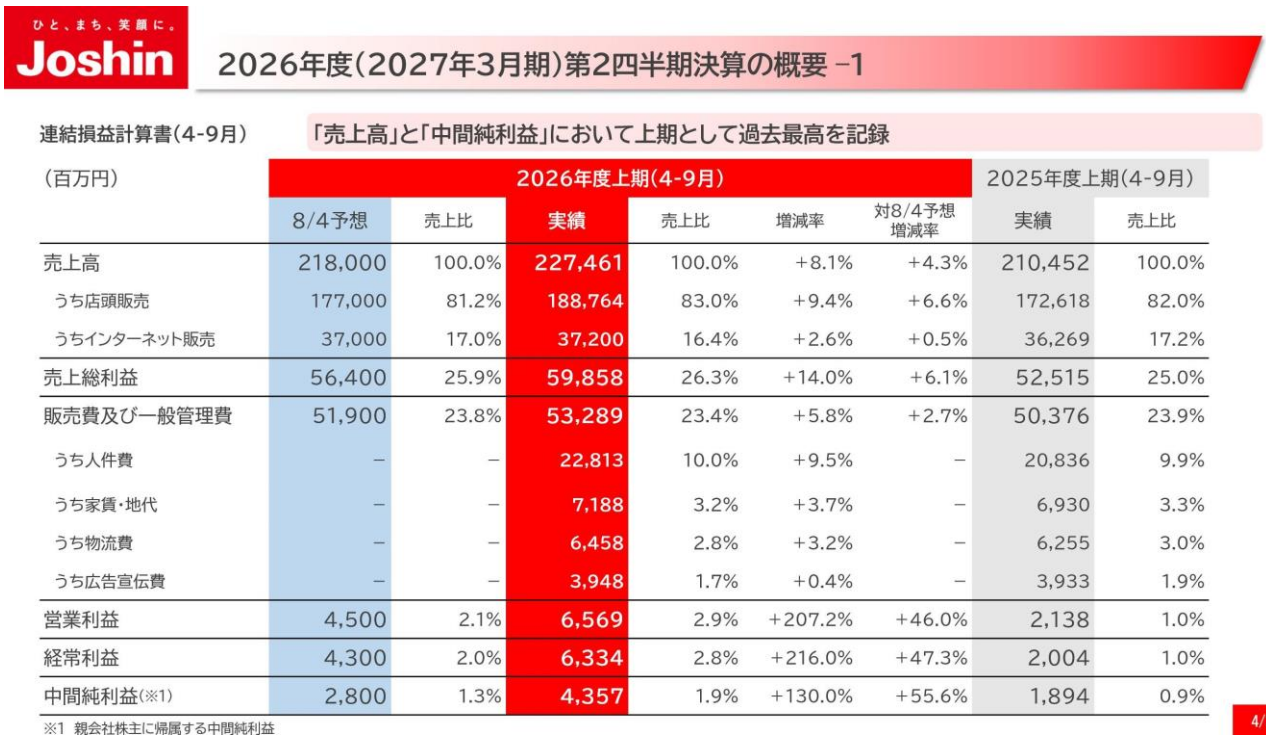
- 2026年度(2027年3月期)第2四半期決算
- 2026年度(2027年3月期)通期予想
- 「JT-2028 経営計画」進捗状況



3/23

それでは、2026 年度第 2 四半期決算につきまして、目次に沿って説明いたします。

説明終了後、質疑応答の時間を設けております。私、もしくは担当の役員より回答させていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

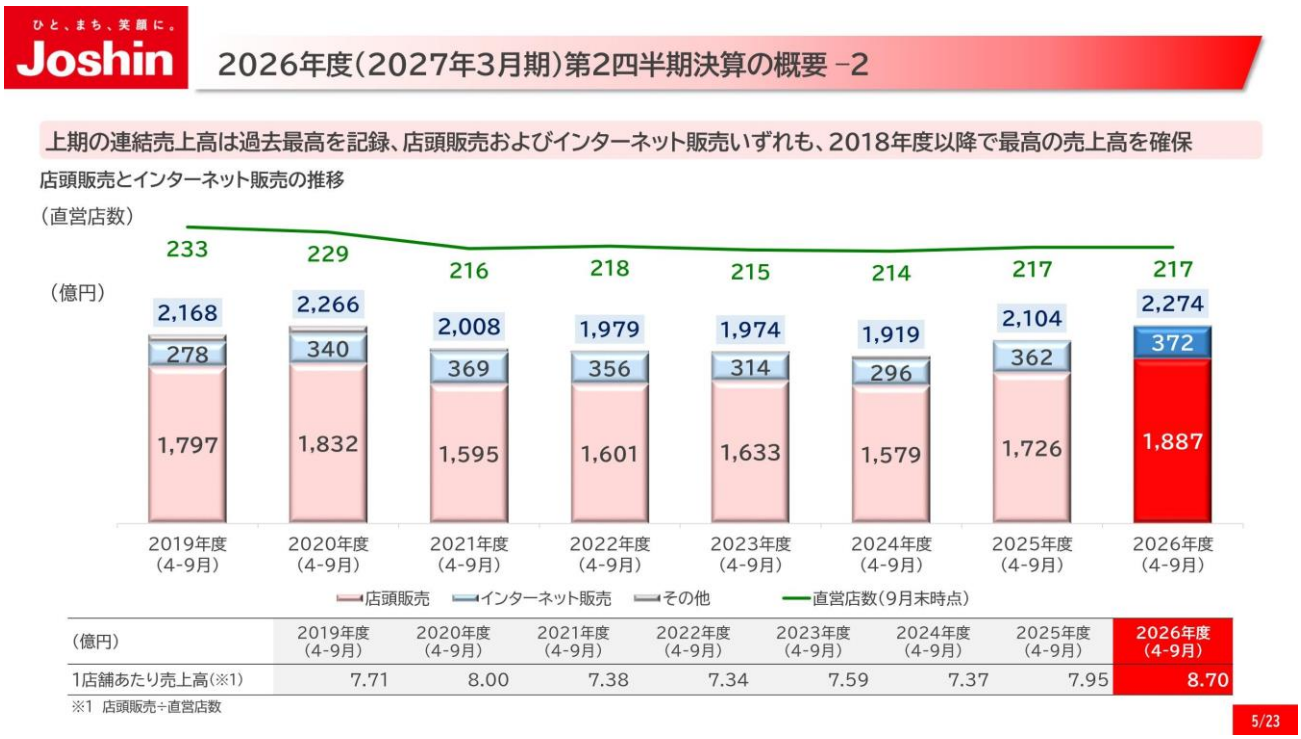


それでは、4 ページをご覧ください。こちらは、2026 年度上期、4 月から 9 月の連結業績一覧です。

売上高におきましては、期初予想、8 月に公表しました前回予想ともに上回り、前年同期比で増収となりました。店頭およびインターネット販売、いずれも前年同期比で増収となりました。

利益面では、いずれも前回予想を上回り、前年同期比で増益となりました。

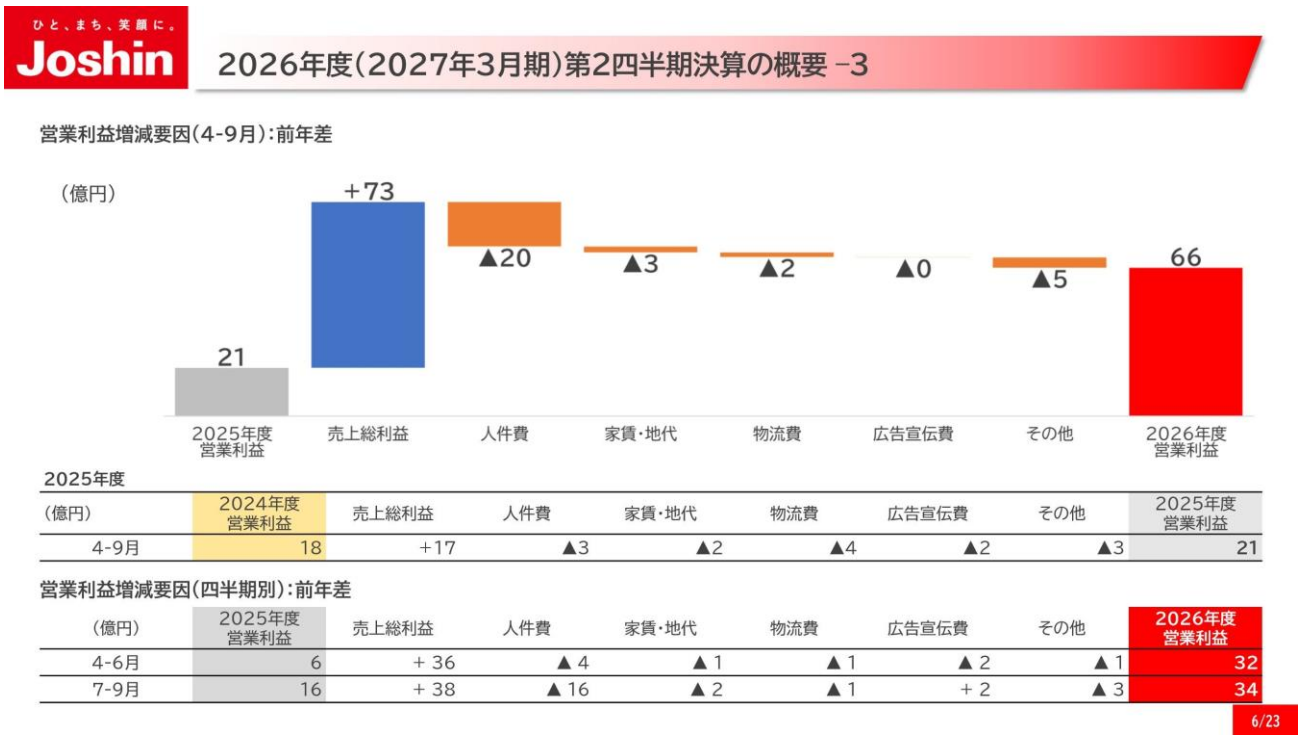
結果として、売上高と中間純利益は、上期としては過去最高を記録しました。営業利益額は前期から 3 倍の大幅増益となり、営業利益率は 2.9%になりました。



5 ページをご覧ください。店頭販売およびインターネット販売における 2019 年度からの上期の業績推移を示しています。

販売チャンネル別の連結売上高を開示した 2018 年度以降において、店頭およびインターネット販売、いずれも最高の売上高を確保しました。

店頭販売では、エアコンを始めとする大型家電の販売、および携帯電話やカードゲームの販売が好調に推移したことによるものです。結果として、1 店舗当たりの売上高も大幅に増加しました。インターネット販売につきましては、主に自社サイトの販売が好調に推移したことによるものです。



6 ページをご覧ください。こちらは、営業利益の増減要因のグラフとなります。

売上総利益は、前年同期比で 73 億円の増益となりました。利益率も単価も高いエアコン始めとする大型家電の販売が好調に推移したことにより、商品ミックスが大幅に改善していることが寄与しています。

人件費は、前期比で 20 億円増加しました。これは、継続的に人的資本への投資を進めたことに加え、前期までは期末に一括計上していた決算賞与の支給予定額を、今期から上期と下期に分けて引き当てたことによるものです。

結果、販売費および一般管理費の増加を上回る売上総利益を確保したことで、営業利益は大幅増益となりました。

2026年度(2027年3月期)第2四半期決算の概要 -4

連結損益計算書(四半期)

(百万円)	2026年度1Q (4-6月)			2025年度1Q (4-6月)		2026年度2Q (7-9月)						2025年度2Q (7-9月)	
	実績	売上比	増減率	実績	売上比	8/4予想	売上比	実績	売上比	増減率	対8/4予想増減率	実績	売上比
売上高	112,704	100.0%	+13.0%	99,738	100.0%	105,295	100.0%	114,756	100.0%	+3.7%	+9.0%	110,714	100.0%
うち店頭販売	92,897	82.4%	+15.7%	80,271	80.5%	84,102	79.9%	95,867	83.5%	+3.8%	+14.0%	92,346	83.4%
うちインターネット販売	18,872	16.8%	+4.8%	18,014	18.1%	18,127	17.2%	18,327	16.0%	+0.4%	+1.1%	18,255	16.5%
売上総利益	29,154	25.9%	+14.0%	25,575	25.6%	27,245	25.9%	30,704	26.8%	+14.0%	+12.7%	26,940	24.3%
販売費及び一般管理費	25,990	23.1%	+3.9%	25,010	25.1%	25,909	24.6%	27,298	23.8%	+7.6%	+5.4%	25,366	22.9%
うち人件費	10,865	9.6%	+4.0%	10,446	10.5%	–	–	11,948	10.4%	+15.0%	–	10,390	9.4%
うち家賃・地代	3,565	3.2%	+2.8%	3,468	3.5%	–	–	3,623	3.2%	+4.7%	–	3,462	3.1%
うち物流費	3,216	2.9%	+4.2%	3,086	3.1%	–	–	3,242	2.8%	+2.3%	–	3,169	2.9%
うち広告宣伝費	2,053	1.8%	+10.6%	1,856	1.9%	–	–	1,895	1.7%	△8.8%	–	2,077	1.9%
営業利益	3,164	2.8%	+460.1%	564	0.6%	1,335	1.3%	3,405	3.0%	+116.4%	+154.9%	1,573	1.4%
経常利益	3,089	2.7%	+541.8%	481	0.5%	1,210	1.1%	3,245	2.8%	+113.0%	+168.0%	1,523	1.4%
四半期純利(※1)	2,356	2.1%	+367.5%	503	0.5%	443	0.4%	2,001	1.7%	+43.9%	+350.9%	1,390	1.3%

※1 親会社株主に帰属する四半期純利益

7/23

7 ページをご覧ください。2026 年 7 月から 9 月の第 2 四半期会計期間の連結業績一覧です。

売上高におきましては、店頭およびインターネット販売、いずれも前年同期比で増益となりました。営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも前年同期比で大幅な増益となり、営業利益率は 3.0%となりました。

2026年度(2027年3月期)第2四半期決算の概要 -5

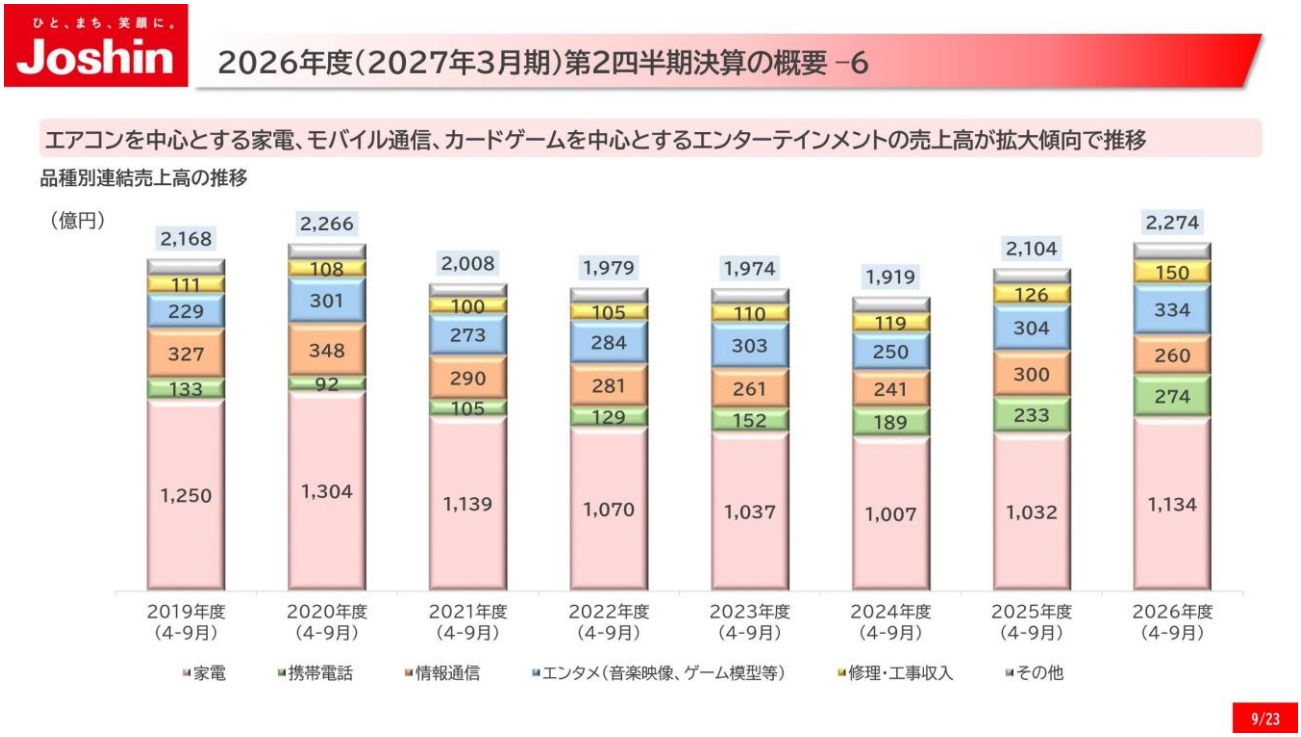
品種別売上高(4-9月)

(百万円)	2026年度1Q (4-6月)			2025年度1Q (4-6月)		2026年度2Q (7-9月)			2025年度2Q (7-9月)		2026年度上期 (4-9月)			2025年度上期 (4-9月)	
	実績	売上比	増減率	実績	売上比	実績	売上比	増減率	実績	売上比	実績	売上比	増減率	実績	売上比
テレビ	5,613	5.0%	+7.0%	5,245	5.2%	6,459	5.6%	△4.4%	6,756	6.1%	12,073	5.3%	+0.6%	12,001	5.7%
冷蔵庫	6,045	5.4%	+6.3%	5,687	5.7%	6,903	6.0%	△5.0%	7,270	6.6%	12,948	5.7%	△0.1%	12,957	6.2%
洗濯機・クリーナー	8,433	7.5%	+5.6%	7,985	8.0%	9,377	8.2%	△2.6%	9,629	8.7%	17,810	7.8%	+1.1%	17,614	8.4%
電子レンジ・調理器具	4,032	3.6%	+9.5%	3,682	3.7%	4,038	3.5%	△2.8%	4,156	3.8%	8,071	3.5%	+3.0%	7,838	3.7%
エアコン	21,212	18.8%	+39.3%	15,226	15.3%	19,540	17.0%	+18.8%	16,442	14.9%	40,752	17.9%	+28.7%	31,668	15.0%
パソコン	4,078	3.6%	△13.6%	4,719	4.8%	3,310	2.9%	△49.3%	6,534	5.9%	7,388	3.2%	△34.3%	11,253	5.4%
携帯電話	12,938	11.5%	+12.6%	11,487	11.5%	14,480	12.6%	+22.3%	11,838	10.7%	27,419	12.1%	+17.6%	23,325	11.1%
ゲーム・模型・玩具・楽器	16,104	14.3%	+18.7%	13,565	13.6%	14,995	13.1%	+3.5%	14,493	13.1%	31,099	13.7%	+10.8%	28,058	13.3%

8/23

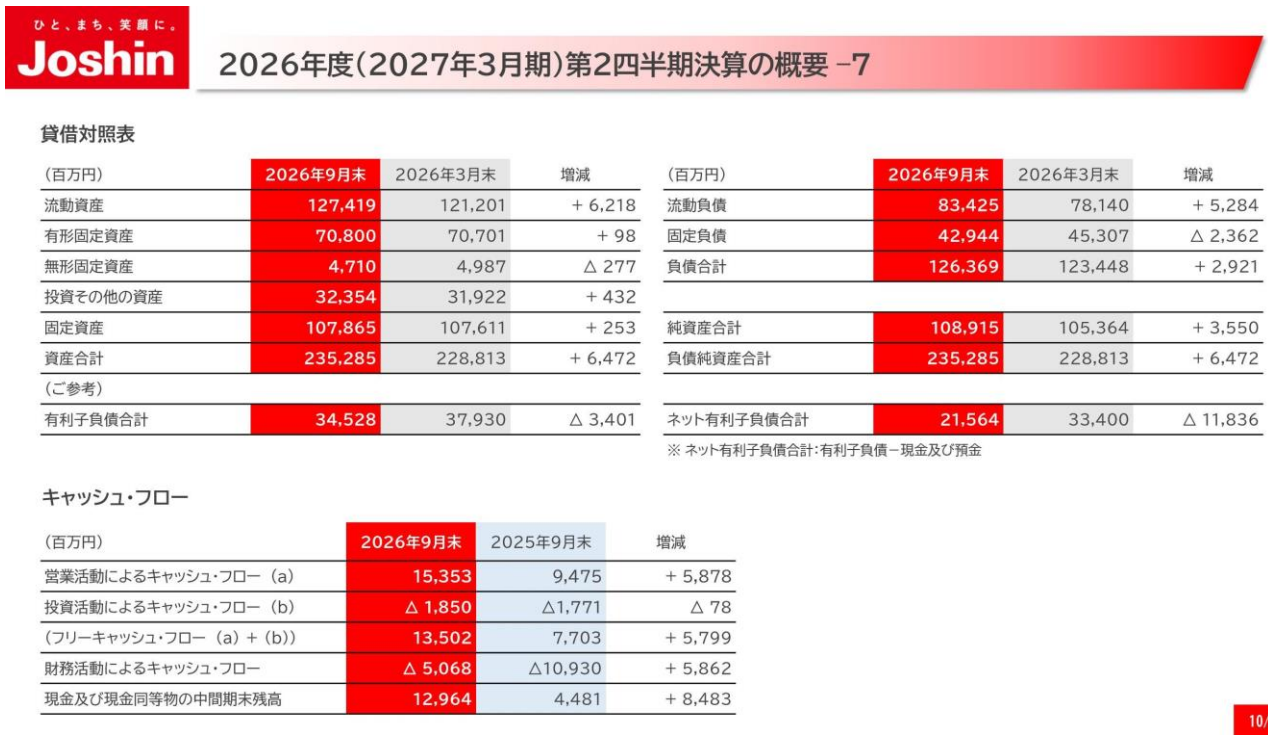
8 ページをご覧ください。主な品種別の売上高一覧です。

2026 年度上期でみると、エアコンを始め、洗濯機、クリーナー、テレビの大型家電において、前期を上回る売上高を確保しました。冷蔵庫も、前期並みの売上高を確保しました。ゲーム関係では、カードゲームの販売が、売上高の拡大を牽引しました。パソコンは、Windows 10 のサポート終了に伴う買い替え需要の反動減により、前年同期比で減収となりました。



9 ページをご覧ください。主な品種別の上期の売上高推移です。

2026 年度上期で見ると、エンターテインメント、携帯電話において、拡大傾向が続いています。一方、家電においては、売上高 1,100 億円台に到達し、拡大傾向で推移していますが、2019 年度から 2020 年度の水準には回復していません。収益力の強化を図る上でも、家電事業の立て直しは最重要課題と位置付けています。



10 ページをご覧ください。貸借対照表とキャッシュ・フロー計算書における主要項目の実績です。

貸借対照表における資産の部では、現預金や商品など流動資産の増加により、合計で約 64 億円増加しました。これは、前期 9 月に開催した阪神タイガース、リーグ優勝セールが今期は 10 月にずれ込んだものによるものです。

負債純資産の部では、流動負債の増加などにより、負債合計で約 29 億円増加しました。一方、利益剰余金の積み増しなどにより、純資産も約 35 億円増加しました。

キャッシュ・フローにおいては、大幅な増益による営業活動のキャッシュ・フローの拡大により、フリーキャッシュ・フローは約 58 億円増加しました。



11 ページをご覧ください。ここからは、2026 年度通期の連結業績予想となります。

上期の実績および直近 10 月の販売状況を踏まえ、上方修正いたします。売上高においては、過去最高となる 4,550 億円を目指します。店頭およびインターネット販売においても、前年同期比で増収する見込みです。

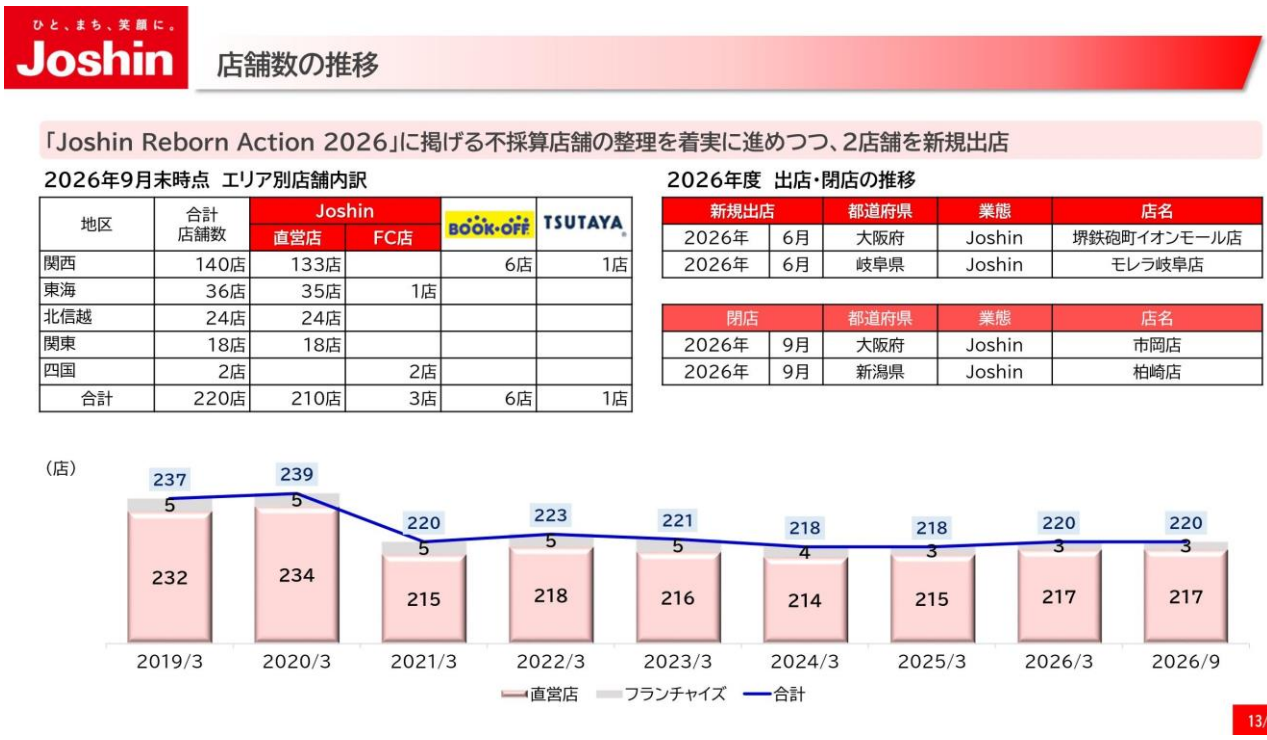
利益面においては、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも前年同期比で増益を計画しています。営業利益額は 110 億円、営業利益率は 2.4%と、前期比で 1.2 ポイント良化する計画であり、JT2028 経営計画に掲げる営業利益 100 億円以上を、1 年目で実現することを目指します。



12 ページをご覧ください。2026 年度下期の修正の予想です。

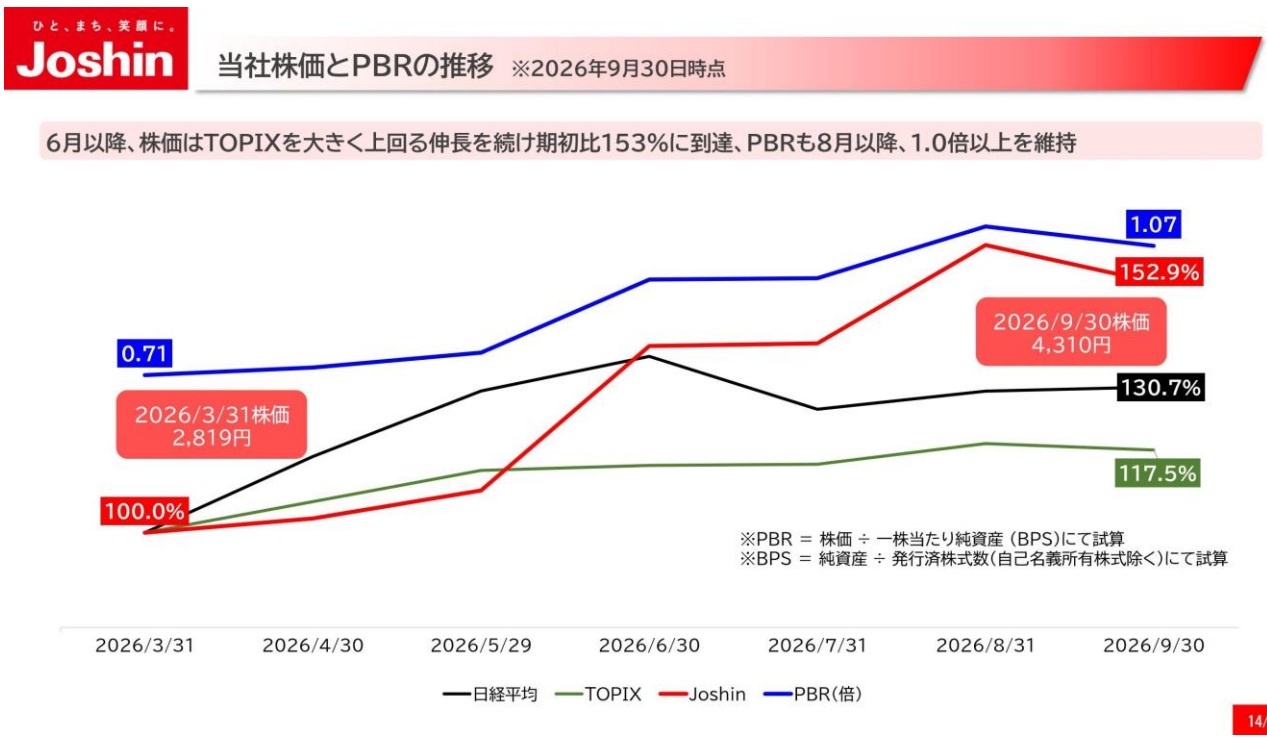
阪神タイガース、リーグ優勝セールを実施した、10 月までの実績および 11 月以降の市場動向を踏まえた上で、期初予想から上方修正しています。下期の純利益は、前年同期比で減益を予想しています。

これは、Joshin Reborn Action 2026 に基づく不採算店舗の整理を着実に進めることにより、期末にかけてまとまった減損損失の計上を織り込んでいるものによるものです。



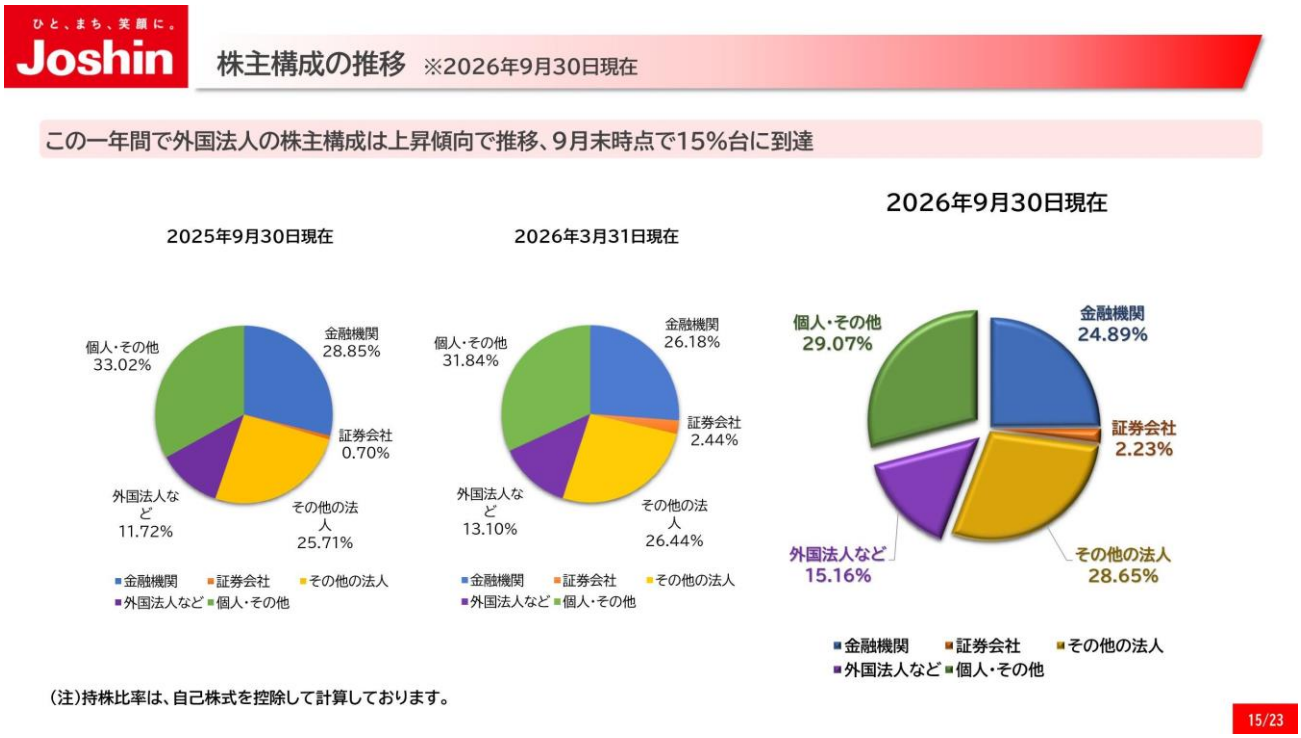
13 ページをご覧ください。こちらは、店舗数の推移です。

2026 年度上期は、新規の出店、閉店、いずれも 2 店舗となり、2026 年 9 月末時点の直営店は、2026 年 3 月末時点と変わらず、217 店舗となりました。



14 ページをご覧ください。こちらは、2026 年 9 月末時点の、当社株価と PBR の推移です。

2026 年 4 月以降の半年間において、株価は日経平均並びに TOPIX を大きく上回る上昇率を確保することができました。PBR も 0.7 倍から 1 倍台に到達しました。



15 ページをご覧ください。こちらは、株主構成の推移です。

2026 年 9 月末時点の株主構成においては、外国法人の持ち株比率が 15%台まで上昇しました。2025 年 9 月末時点から上昇傾向で推移しており、株価の上昇にも寄与していると受け止めています。

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

［目次］

■ 2026年度(2027年3月期)第2四半期決算

■ 2026年度(2027年3月期)通期予想

■ 「JT-2028 経営計画」進捗状況



16/23

16 ページをご覧ください。ここからは、2026 年度からスタートした 3 カ年の新中期経営計画、JT-2028 経営計画、この後は新中計との表現で、進捗状況についてご説明します。

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

中長期の成長シナリオにおける「JT-2028　経営計画」の位置づけ

「家電量販店版マチの電器屋」の具現化に向けて、「Joshin Reborn Action 2026」の着実な取り組みを推進

1948年 創業

JT-2023 経営計画 計画未達

JT-2025 経営計画 売上高達成 営業利益未達

JT-2028 経営計画
新生Joshinグループとして
持続的成長と企業価値向上を
可能とする事業基盤の再構築
【収益力強化への再挑戦】

2048年 創業 100周年

2028年度計画の早期実現
営業利益　100億円以上
ROE　　7.0%以上

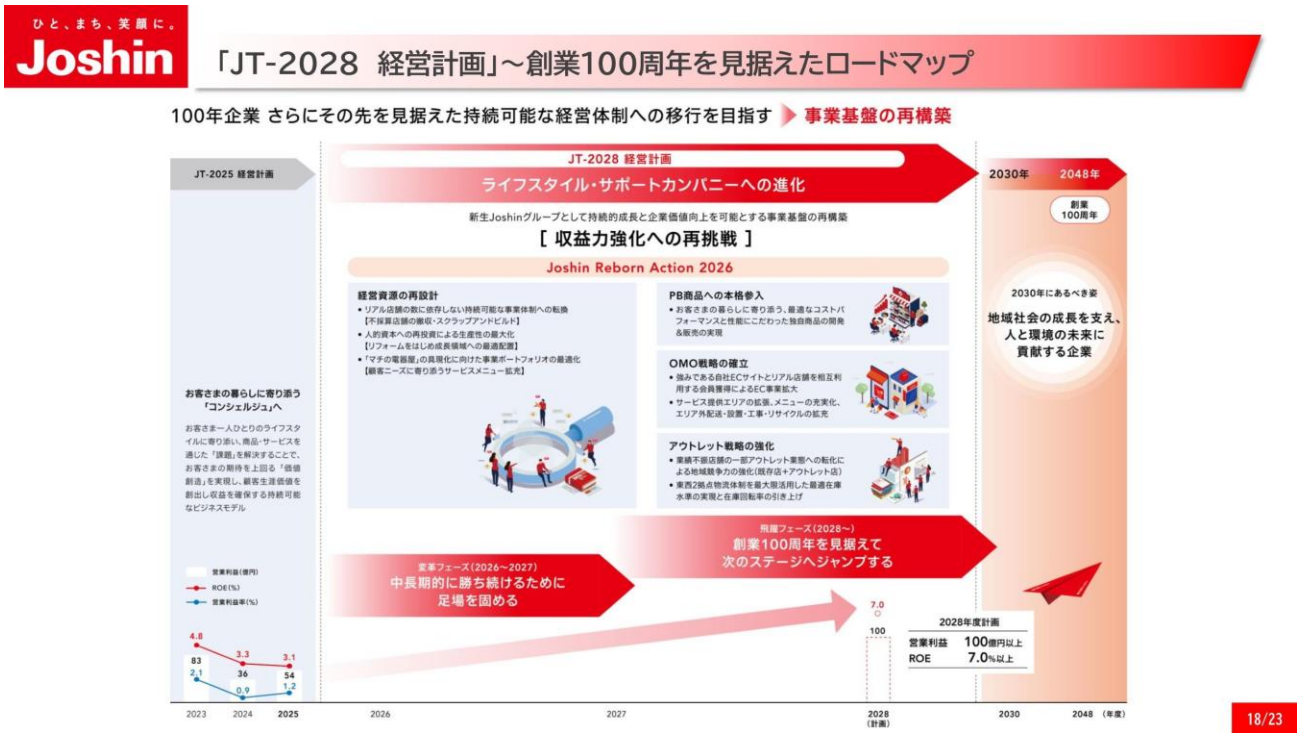


17/23

17 ページをご覧ください。まずは、中長期の成長シナリオにおける新中計の位置付けを改めてご説明します。

2026 年度は、株式会社 Joshin として新たなスタートを切る 1 年目として、新中計もスタートしています。前中計で積み残した課題を早期に解決し、新たな成長軌道を描くべく、新中計では、営業利益 100 億円以上、ROE7.0%以上、この二つを計画に掲げ、収益力の強化に再挑戦することを掲げました。

上期の好調な業績を踏まえ、新中計の初年度において、営業利益 100 億円以上を実現すべく、取り組んでまいります。



18 ページをご覧ください。こちらは、新中計から創業 100 周年、さらにその先を見据えたロードマップとなります。

新中計に掲げる計画の早期達成を実現するためには、全社的な行動計画である Joshin Reborn Action 2026 の着実な実行が必要となります。

個々の進捗状況につきましては、次のページ以降で説明します。

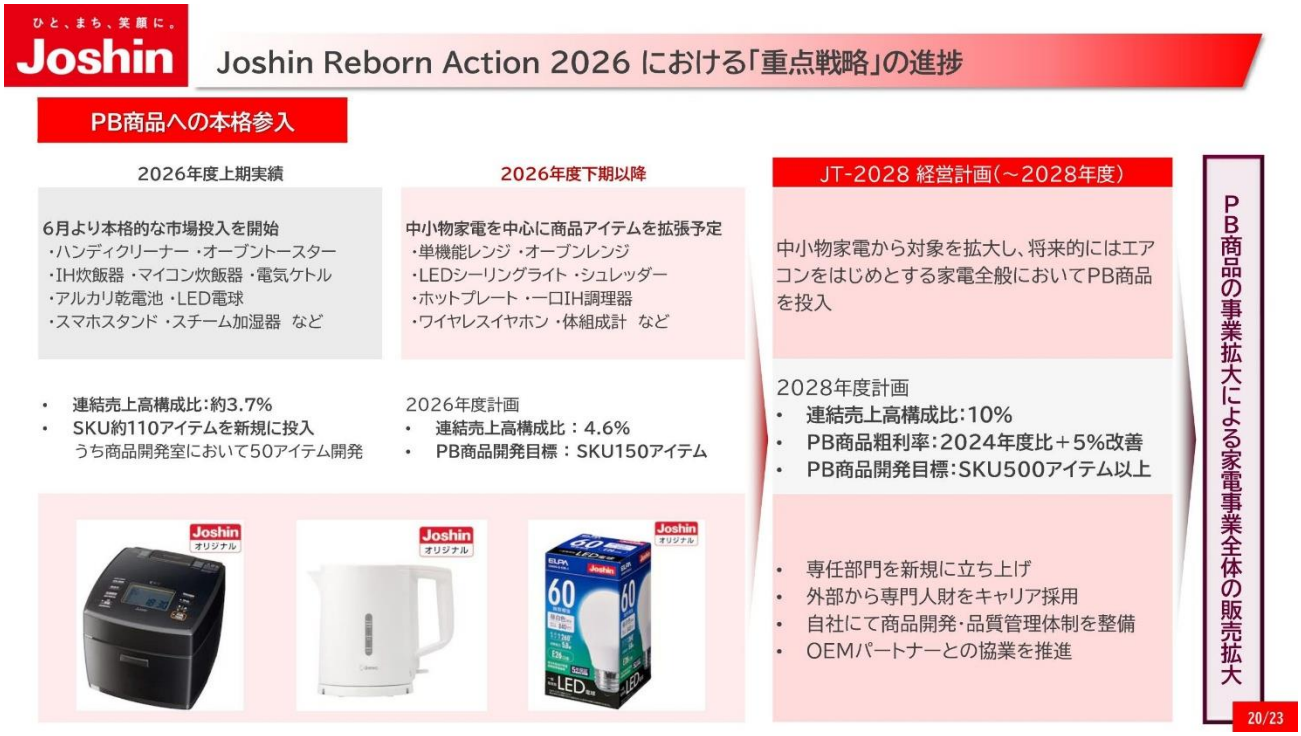


19 ページをご覧ください。初めに、リアル店舗事業の収益力強化に向けた取り組み状況です。

Joshin Reborn Action 2026 に掲げる最大の柱である、経営資源の再分配に位置付ける、不採算店舗の整理状況についてはご覧の通りです。

次に、2026 年度上期は、2 店舗の撤収にとどまりましたが、対象店舗の撤収に向けた交渉を同時並行で進めています。2026 年度下期は撤収を加速させ、2027 年度中に対象店舗全店の撤収にめどを付ける予定です。

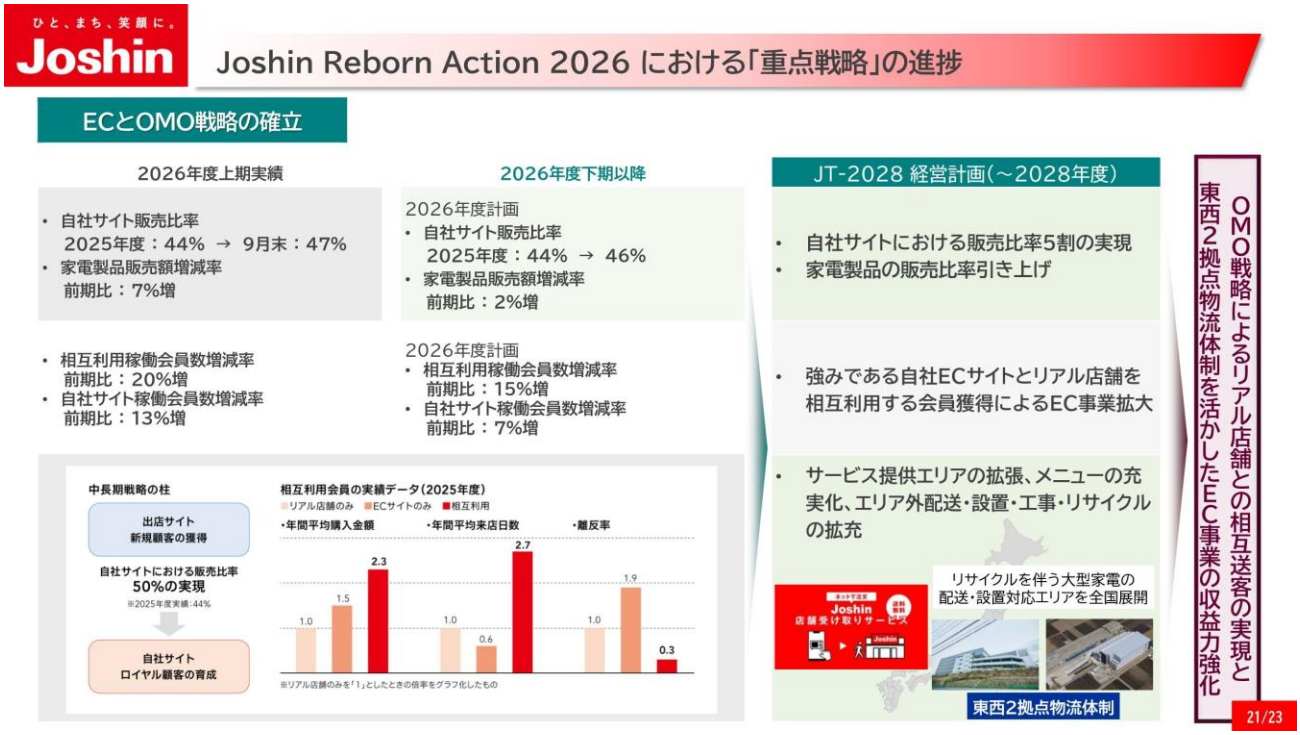
アウトレット戦略の強化に向けた取り組みは、ご覧の通りです。



20 ページをご覧ください。PB 商品への本格参入に向けた取り組み状況です。

PB 商品への本格参入は、Joshin Reborn Action 2026 においても、収益力強化に直結する重点戦略と位置付けています。2026 年 6 月より本格的な市場投入を開始し、9 月末時点で約 110 アイテムを新規投入しています。

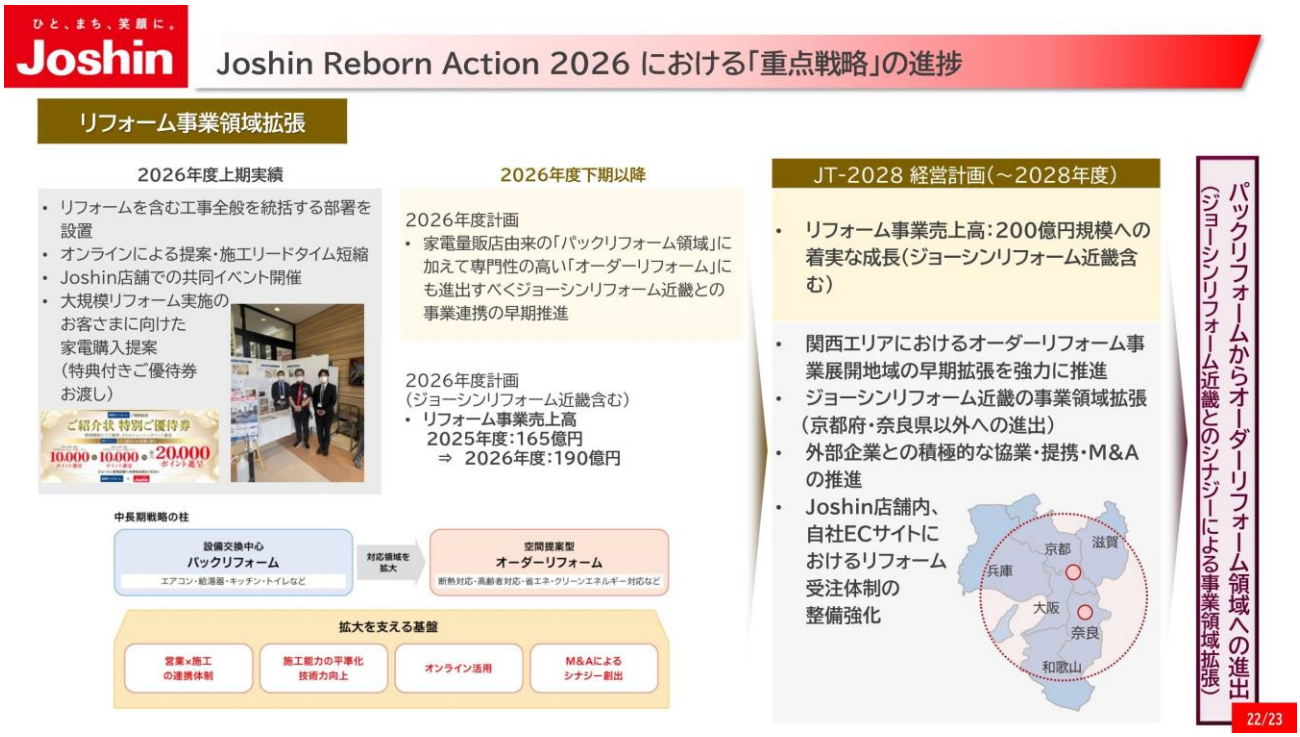
2026 年度下期以降も、中小型家電を中心に商品アイテムを拡張し、エアコンを始めとする家電全般において PB 商品を投入できる事業基盤の構築を進めます。



21 ページをご覧ください。EC と OMO 戦略の確立に向けた取り組み状況です。

当社が提供するリアル店舗と EC の 2 チャンネルを、相互に利用していただける会員様を拡大するために、様々な取り組みを 2026 年度から着手しています。

その結果、2026 年度上期の EC における、自社サイトの販売比率は着実に上昇しています。EC における家電販売比率を増加することで、収益を伴った売上高の拡大に繋がっています。



22 ページをご覧ください。リフォーム事業の領域拡張に向けた取り組み状況です。

今後も市場の拡大が見込まれ、主力の家電事業との親和性も期待できるリフォーム事業は、当社では成長事業と位置付けています。

2026 年度上期は、ジョーシンリフォーム近畿との連携を着実に進め、オーダーリフォームへの領域拡大に向けた基盤を整備し、リアル店舗における協業も開始しました。売上高 200 億円の早期達成に向けて、事業連携の早期推進を目指します。

以上をもちまして、2026 年度第 2 四半期決算、および JT-2028 経営計画の新規進捗状況についての説明を終了いたします。ご清聴いただき、誠にありがとうございました。

質疑応答

司会 [M]：それでは、質疑応答に移りたいと存じます。ご質問がまいりました。

質問者 [Q]：2027 年問題や足元の動向を踏まえ、エアコンの下期、来期以降の見通しについて教えてください。

司会 [M]：この質問につきましては、社長の高橋よりお答えさせていただきます。

高橋 [A]：高橋でございます。ただいまのご質問について、お答えをさせていただきたいと思います。まず、2027 年問題の動向でございますけれども、前期、下期は、エアコンが約 27 億円ほど前年に対してプラスでございました。この下期は、前期と同水準の数字は上がるのではなかろうかというふうに見ております。

2027 年問題も、第 1 四半期から比べるとかなりペースが落ちてはおりますけれども、最後に駆け込み需要というのもあると思いますので、この下期については、エアコンについては、弊社の場合は前同 100 ぐらいは行きたい、行けるであろうというふうに考えております。

ただし、来期の上期、ここは今期、上期 100 億円、前期より売上、工事も含めて進んでおりますので、この数字をそのままクリアするということは非常に困難だと思います。半分の 50 か、もう一つ来るのかというような数字になってくると思います。かなりのボリュームがございますので、ここについては今から手を打って、このエアコンの落ち込みをしっかりとカバーをしていく。

今、考えているのは、業務用エアコン、ハウジングエアコン、それと電気とガスの給湯器、ここは弊社が非常にシェアが低いジャンルでございますので、この下期から、そこに力をしっかり入れて、この取り組みというのは、来期の上期、ここに活かしていきたい。この下期については、エアコンはまだまだ前同 100 はいけると思っておりますので、ここにしっかり注力をして、商売をしていこうと思っていますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

司会 [M]：他にご質問、ありますでしょうか。

それでは、質疑応答を終了させていただきます。

以上をもちまして、株式会社 Joshin、2026 年度第 2 四半期決算説明会のライブ配信を終了いたします。

以上、ご清聴いただきまして、誠にありがとうございました。

［了］

_____

脚注

1.　音声が不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、株式会社 JPX 総研（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。